

▼INDEX▼

■【監査ニュース】
・名大病院、臨床工学技士 2 人を処分　業者から飲食接待　外 9 件
■【連載企画】
・健さんが頼みの綱 ～Ken is my last ~~h~~rope ～【終】「内部監査の意義」
■【Audit Cafe】
・おうでぃっとりっぷ in 会津

表題写真：天童の田んぼ

監 査 ニ ュ ー ス

・名大病院、臨床工学技士 2 人を処分　業者から飲食接待【8/2 朝日新聞】
・知人を不正に雇用、東大大学院教授を論旨解雇【8/2 朝日新聞】
・近大病院で不適切会計 公金 2,200 万円、一部流用【8/5 日本経済新聞】
・九大元研究員が不正流用 研究費 400 万円、架空請求 【8/6 西日本新聞】
・ゼミ女子学生にセクハラ、鳥取大教授を停職処分…被害学生は抑うつ状態で修学困難に【8/10 産経新聞】
・「母校の取り組み」に OB も投資…「近大ハニー」プロジェクト 141 人、165 万円の寄付【8/19 産経新聞】
・詐病で給与、不正に 605 万円…神戸大職員解雇【8/24 読売新聞】
・国の補助金を目的外使用か 鳥取大医学部【8/24 産経新聞】
・教育実習で深刻なセクハラ 調査チームが報告【8/25 日本経済新聞】
・阪大病院、4,330 万円裏金処理 救急センター長個人口座で 懇親費などに【8/26 産経新聞】

連 載 企 画



「自分、不器用ですから」と、いつも控えめな健さん。でも、本当はみんなから頼りにされる人気者。そんな健さんが、あなたの悩み・疑問に答えるコーナー！「健さんが頼みの綱」。大人気だった健さんシリーズも、ご好評のまま最終回を迎えることとなりました。最終回の第⑧回は、健さんから皆さんに「内部監査の意義」についてお伝えします。

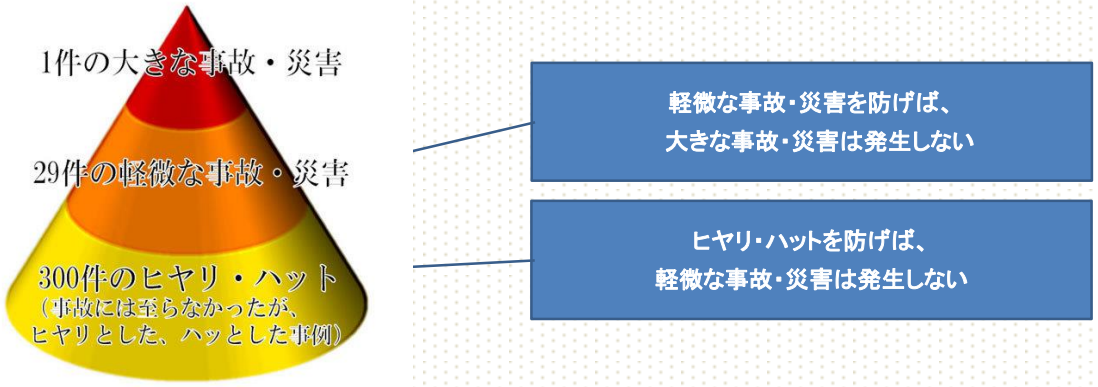
今回は最終回ということで、「内部監査の意義」というテーマで筆をとらせていただきました。

内部監査の意義は粗探しではなく、業務上のリスクを軽減することにあります。
普段、私達が行っている業務には、大小様々なリスクが潜在しており、そのリスクを回避するために、規則やマニュアル等により業務プロセスや内部統制の体制が整備され、リスクをできるだけ回避しようとしています。

しかしながら、潜在するリスクの多くは、大学の業務運営に直接影響を及ぼす可能性が低い傾向にあるため、リスクの存在に気づかず業務を行っていることが多いのです。さらに、業務に対する慣れや人事異動に伴う引継ぎ不足等により、次第にリスク回避以外の意識（例えば、業務処理のスピードや効率性が優先されてしまう）が働き、その結果、小さなリスクだったものが徐々に積み重なり顕在化していきます。

ひとたびリスクが発生してしまうと、本学の信用を失いかねない事態に発展する恐れもあるため、リスクを顕在化させないための手段をとる必要があります。具体的には、業務プロセスや内部統制を確立し、リスクを回避する体制を構築すればよいことになりますが、部局独自で体制を構築し、その有効性をチェックするには限界があります。そこで、内部監査において業務プロセスや内部統制の有効性を確認し、また、リスクを抽出し、認識・確認することにより、部局等の業務上のリスクをできるだけ排除することが内部監査の狙いであると言えます。

○ ハインリッヒの法則



1件の「重大な事故」の背後には 29件の「軽微な事故」があり、その背景には、300件のヒヤリ・ハットが存在するとされるものです。
この法則から導き出せる教訓として、「重大な事故」というものは、軽微な事故を防いでいれば発生しないものであり、「軽微な事故」は、ヒヤリとするような事故を防いでいれば発生しないものであるということです。
内部監査を通じて、後に重大な事故や不祥事につながる要因となる「ヒヤリ・ハット」が自分の身の周りにあることに気付き、それを防ぐことが出来るかもしれません。

ところで、業務プロセスや内部統制が確立されれば、不正は起こり得ないのでしょうか？以下のケースをご覧ください。

X 月 1 日、A 教授は B 株式会社に試薬を 1 本発注した。
翌 2 日、B 株式会社から試薬が納品され、検収センターにて会計係の検収を受けた後、A 教授のもとに届けられ、A 教授が納品書に受領の確認を行った。
その後、購入済報告書・納品書・請求書が会計係に提出された。
会計係では書類受領後、債務計上伝票を起票し、決裁権限内規に基づく決裁及び確定を経て、業者への支払いが行われた。

教員の受領の確認と検収センターの検収を済ませているため、本学の債務として認識されます。また、決裁権限内規別表に定める通り、会計係長までの決裁を経ており、書類上は非の打ちどころがありません。
しかし、A 教授と B 社が結託し、納品したはずの試薬を開封することなく B 社が回収すると、いとも簡単に不適切な処理が成立してしまいます。
業務プロセスや内部統制が確立されていたとしても、悪意をもってすれば簡単に不正は起こってしまうのです。

現実問題、研究費不正は、今尚本学以外の機関で多発しております。
8 月に入ってからの主な研究費不正は以下の通りです。

・九大元研究員が不正流用 研究費 400 万円、架空請求【8/6 西日本新聞】
・国の補助金を目的外使用か 鳥取大医学部 【8/24 産経新聞】
・阪大病院、4,330 万円裏金処理 【8/26 産経新聞】

※ニュース記事の著作権を考慮し、見出しのみの記載とさせていただきます

このような研究費不正の発生を防ぐために、本学の内部監査では、文部科学省が定める『研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン』に沿ったリスクアプローチ型監査を導入しています。具体的には、教員への旅費実在性の確認、取引業者への受注状況確認等及びリスク発見を主目的とする監査です。

内部監査を実施するにあたり、皆様には多大なご負担をおかけしております。ご負担をおかけしている以上、実効性のある監査を目指すことは勿論ですが、少しでも負担の少ない監査となるよう、努力していく所存です。

今後とも監査業務にご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

「健さんが頼みの綱」の最終回となる第 8 回は、「内部監査の意義」について説明させていただきました。
不器用な私ですが、少しでもご理解いただけましたでしょうか。
では、皆さんごきげんよう。長い間、本当にありがとうございました。

このコーナーは今回で最終回となりましたが、新コーナーに向け、引き続き皆様からの疑問・質問をお待ちしています。
日頃の業務の中でのちょっとした疑問（なんでこんな作業が必要なのだろう）や、いまさら上司や先輩に聞けないけれど、実はよく理解できていないことなど、メール、ファックス、またはお手紙でお寄せください！（匿名でも大丈夫です）

Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、**「おうでぃっとりっぷ in 会津」**と言うお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。

過ぎし 8 月のお盆、地元・会津へ帰省しました。例年は、お墓参りをすませると、食べては寝て食べては寝てを繰り返し、折角の休みを無駄に消化してしまうところ、今年は、Audit Cafe で旅行ガイドブックの真似事でもしてみようかと思い立ち、色々と散策してきました。題して、「おうでぃっとりっぷ in 会津」☺

まずは、最近バラエティ番組で大物芸能人が訪れた「五色沼」をご紹介します。
会津のシンボルでもある磐梯山。その磐梯山と他の山々に囲まれた高原が裏磐梯であり、五色沼はその裏磐梯にあります。五色沼は、正式には五色沼湖沼群といい、大小数十の湖沼で構成されています。水質や植物・藻などにより、湖沼ごとに様々な色彩を見せます。

右の写真は、五色沼を構成する沼の一つである、毘沙門沼の風景です。五色沼を巡るトレッキングコース「五色沼自然探勝路」から撮影しました。



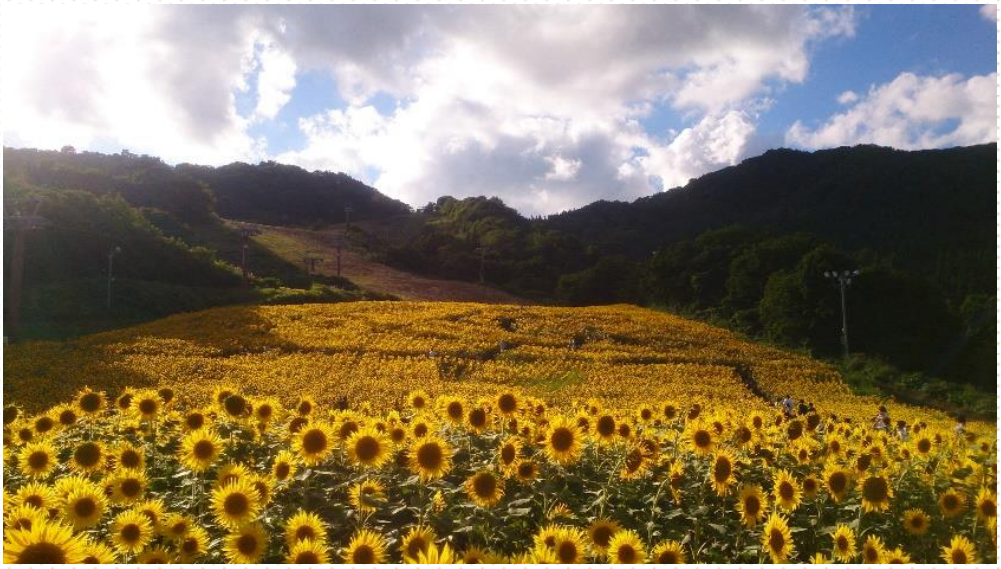


サンダーメモ　☺⚡
「五色沼自然勝路」は、左の写真のように自然そのものの道で、ごつごつした岩で段差ができていたり、道幅が狭くなっていたりするため、スニーカーなど歩きやすい靴で行くことをおすすめします。
全長片道 3.6km ありますが、「そんなに歩けない…」という人は、毘沙門沼の周りをぐるっと歩いてくるだけでも素敵な景色が楽しめます。（わたしも今回そうしました）



毘沙門沼には、何匹もの鯉が泳いでいるのですが、その中に、ハートの模様がついた鯉がいるそうです。その鯉を見つけると、幸せになれるとかなんとか….♡ それにしても、何を食べて育っているのか、この鯉たち、かなりの大きさでした。（餌やりは禁止のようですが…）

次にご紹介するのは、まだあまり知られていないと思われるスポット、「三ノ倉高原ひまわり畑」です✿



山道を車で突き進むとたどり着く、圧巻のひまわり畑。畑の中は巨大迷路になっているので、ひまわりたちの間を歩くことができます。実はここ、ある施設を利用して公開されているお花畑なのですが、何の施設かわかりますか？



正解は、スキー場です。上の写真の右側に写る家のような建物が山小屋で、その少し左側・写真の中央に写っているのがリフト乗り場です。そこから右の方へリフトを運ぶロープが伸びているのが見えます。冬はスキー場として営業し、春から秋はお花畑として活用されているのです。

こちらのひまわり畑、入場はなんと無料。なお、花畑整備のための協力金をお願いしているということで、数箇所に募金箱が設置されていました☺

五色沼を見て、ひまわり畑を見て、そろそろお腹がへってくる頃…。ということで、最後にご紹介するのは、わたしも大好きな会津名物「ソースカツ丼」です！

カツ丼と言えば、卵でとじられているものが一般的ですが、会津でカツ丼といったらやっぱりソースカツ丼。ソースカツ丼とは、その名のとおり、カツにソースをかけ、白米とキャベツの上に乗せた丼ものです。会津にはソースカツ丼を提供しているお店がたくさんあり、観光シーズンはどのお店にも行列ができています。今回わたしが訪れたのは、磐梯山と並ぶ会津のシンボル「鶴ヶ城」の近くにある、お花の名前の食堂。小さな昔ながらの食堂で、失礼な言葉を使うと、ちょっとぼろっちい佇まい…。でも、実は穴場だったりします。（サンダー個人ランキング第１位 ⚡）



会津のソースカツ丼、美味しさはもちろんのこと、売りはこの“盛り”ではないでしょうか。丼ぶりからはみ出るほどのカツ！このまま食べ始めると、なかなか白米にたどり着けません。まずはカツを丼ぶりの蓋に移動させるのが、上手に食べるコツです。



このお店では、お味噌汁、小鉢２品、漬物の他に、なんと別盛りのキャベツが出てきました。ドレッシングはかかっていません。何をかけて食べるかというと…カツにもかかっているこのソースです☞

このソース、当たり前ですが市販のソースとはまったく違います。（だから、ソースカツ丼は家では作れません。）さらに、お店によって、味もコクもとろみも千差万別。なので、いろんなお店を食べ歩きするのも楽しいですよ。きっとお気に入りのお店が見つかるはずです。



サンダーメモ　☺⚡

「こんなに大きなカツ、食べ切れないかも…」という方、ご安心ください。お店によっては、左のようなハーフサイズもあります。また、辛子が用意されているお店もあります。意外かもしれませんが、ソースカツ丼には辛子が合うので、味変しながら食べると、案外ぺろりといけちゃいます。わたしは今回ハーフサイズにしたのですが、食べ終わった後、「普通サイズでもいけたな…」と少しだけ後悔しました（笑）

いかがでしたでしょうか？もし機会がありましたら、会津にいらしてみてください☺⚡



最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。
引き続き、「おうでぃっとめーる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。
バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは...

【電話でのお問い合わせ】
東北大学監査室
０２２－２１７－４８７４（監査室長：佐藤）
０２２－２１７－５６８０，４８８０（平野、小原、綱川、杉山）

【メールでのお問い合わせ】
東北大学監査室
kansa@grp.tohoku.ac.jp

Copyright(C) Audit Office,Tohoku University . All rights reserved.
本メールの無断転載を禁止します